

本当にやりたいことが
みつかる

運命の仕事に 出会うための本

久保田展夫

はじめに

ぎゅうぎゅうに背中を押されて、必死で吊革をつかむ満員電車の中。
はたまた、鏡に映った自分の顔が、なんだかとても疲れて見えたとき。

そして、いつもの帰り道、ふと夜空を見上げて、大きく息を吐いては思うこと。

「私、この仕事、いつまで続けていくんだろう？」

「今の仕事って、本当に私のやりたい仕事？」

「私にとって、もっと情熱を持ってやれる仕事って、ほかにもあるのでは？」

「本当に好きな仕事をみつけて、独立って可能なのかな？」

そんなことを日々、自問自答している女性の方々に、ぜひ本書を読んでもらいたい

のです。

「仕事を楽しみなら人生は楽園。仕事が苦しみなら人生は地獄」

今は亡きロシアの文学作家マクシム・ゴーリキーの言葉です。

仕事を楽しんでいるか、そうではないかで、天国と地獄ほどの違いがあるという
ことです。同じ限りある人生ならば、それはやっぱり楽園で生きたいですよ。

やりたいことを仕事にして、毎日を圧倒的な充実感で過ごす、そんなことができる
のでしょうか？

答えはもちろん、イエスです。あなたがそれを望んで、本気で考え行動すれば、必
ずそこにたどり着くことができます。

私自身、社会人になった直後から、

「これは本当に私がやりたかった仕事だろうか」

「自分にはもっとほかに、情熱を持って取り組める仕事があるのではないかと自問自答し続けてきました。でも、そのことを、誰かに話すことはできませんでした。」

「それは考え方が甘い！」

「苦勞から逃げているだけだ！」
と言われるのが怖かったからです。

結局、モヤモヤとした気持ちのまま、さまざまな職業を渡り歩きました。

現在、私は起業し、女性限定の起業支援や運命の仕事探しのお手伝いとして、パーソナルプロデューサー、カウンセリング、コンサルティングの事業をしています。お客様の99%は女性です。

女性応援企業(株)スマイルーナの代表でありながら、「女性応援家」として活動している私は、今の仕事が天職だと思っています。

本書では、カウンセリングをする中で得られた、働く女性たちが抱えるモヤモヤした悩みに触れながら、どう考えれば運命の仕事に出会えるのかを、惜しみなく公開させていただきます。

なぜなら、この本を読む方には、私みたいに長い年月をかけずに、もっともっと早く運命の仕事に出会って、働く楽しさを知ってもらいたいからです。

単なる道案内ではなく、いかに最短でその道にたどり着けるかをアドバイスしていきたいと思います。

当社の事業の中の「やりたいことを仕事にしたいカウンセリング」では、

「私にとって本当にやりたい仕事って何？」

「もっと情熱を持って取り組める仕事があるのでは？」

「好きなことはあるけど、それで生計を立てていけるのかな？」

「起業はしてみたいけど、まず最初に何をすればいいの？」

そんな悩みや疑問にお答えして、アドバイスさせていただきます。

日々、カウンセラーの仕事をしている中で、次第に見えてきた女性のための運命の仕事の探し方。

女性の多くは、単に収入面だけではなく、肩書や世間体でもなく、社会的認知度や野心でもなく、感性や人間関係、プライベートや育児との両立を重視した上で、心から楽しいと思える、充実感のある仕事を求めます。

そして、結婚、出産、子育てと、ライフスタイルが変わることを見込んで、それに柔軟に適応していける仕事かどうかをきちんと考え、今の会社にずっといられるのかどうかで悩みます。

将来的な働き方に不安や疑問を持って、私のところを訪れる人は、20代30代の女性がとても多いです。

本当にやりたい仕事を見つけずにはいらなくて、プライベートと両立させながら、結婚し、子供を産み、家族を大切にしながらも、仕事でのやりがいも失わずに、楽しく充実した1日1日を過ごせる人でありたいと、そんな未来のイメージを抱く女性たち。

描いていた未来のイメージや願望と、現実とのギャップが増大してくると、不安感や、自信喪失、無気力感、嫉妬心などのマイナス感情が湧いてくるのです。

最初に私のところにご相談に来る女性に対しては、そのマイナス感情を払しょくさせるために、未来の楽しいイメージを想像してもらおうようにしています。

「こんなことをやれば、こんな楽しい未来になるよ」と情報を伝えながら、楽しいことを一緒に考えていくのです。

運命の仕事に出会うためには、想像力がとても大切だと思っています。

想像力とは、「自分の未来の姿をイメージする能力」のこと。

想像力がある人は、「このスキルを身につければ、今の仕事にプラスに働くはず」と、少し未来の自分をイメージして、新境地を開拓していくことができます。

逆に想像力がない人は、「自分の人生こんなもんか」と、どこかで諦めてしまっているのが、当然、現状のまま何も変化することはありません。

運命の仕事に出会うためには、わくわくするような未来の自分を想像して、そこに向かって行動することで、チャンスをつかみに行くことが必要なのです。

今がどうであれ、現状に満足してはいけません。長い目で自分の人生を見つめながら、想像力を広げて、一步一步前に進んでいってほしいのです。

カウンセリング後のクライアントの方は、想像力をフル稼働して自分の未来の姿を想像できるようになるので、いい笑顔で帰って行かれます。これが、今の仕事をしていてよかったと、心の底から感じる瞬間です。私自身もそんな多くの笑顔に、いつも励まされます。

もっともっと笑顔と充実感に満ちあふれた人生を手にするために。
あなたも私と一緒に、「運命の仕事探し」を始めてみませんか？

もくじ

はじめに 2

プロフィール 14

第1章

仕事は楽しいですか？

働く女性が抱える心の闇 22

仕事を楽しむ能力 31

第2章

悩めるアラサー女性

仕事を楽しめない理由とは 40

アラサー世代の焦りと不安 46

第3章

やりたいことがわからない人へ

悩みの本質探し 54

恋愛が本当の悩み 56

ネガティブな感情と向き合う 63

第4章

適職カウンセリング

適職が何かを知る 76

情報の整理をしよう 85

第5章

行動してみよう

ブログやSNSを活用しよう 94

第6章

コミュニティを作ろう！

コミュニティの作り方 132

コミュニティを継続させるコツ 143

第7章

運命の仕事を引き寄せる習慣

まずは習慣を変えよう 150

圧倒的に充実した人生を送るために

第 8 章

カウンセリングを
成功させるコツ

相手の心を開く

164

好きなテーマを知る

どんな性格かを知る

174 168

おわりに

181

プロローグ

私自身、運命の仕事に出会うまでに20年間かかりました。

ここでは、私の自己紹介も兼ねて、今の女性専門のカウンセラーの仕事に就くまでの長い道のりを、時系列で少し詳しくお話しさせていただきたいと思っています。

1968年、寿司職人の父とそれを手伝う母のもとに、男三人兄弟の末っ子として新潟で生まれました。男兄弟の中で育ったために、女性と話すことがとても苦手でした。口下手で赤面症。自分自身にあまり自信が持てず、対人恐怖症などころも少しありました。

私が就職したのは、バブル真っ只中。口下手の自分から脱却しようと、新卒で一部上場電機メーカーに営業職で入社し、配属となった東北の営業で、同期50人中2位の成績を収めることができました。

物を作れば売れる時代。日本中が浮足立っていました。人々の購買意欲を刺激する言葉が日本中に溢れ、そういった物を売るための仕掛け人でもあるクリエイティブ職の人たちが注目され始めたのもこの頃。

当時からカリスマ的な存在だった糸井重里さんのようなクリエイティブ職に憧れ、社会人生活2年目、私は一念発起してコピーライターを目指し、上京しました。

まさに、ゼロからのスタートでした。映画チケット法人営業のアルバイトをしながら専門学校で商業用のコピーライティングの技術を学び、小規模の広告制作会社に念願のコピーライターとして入社しました。

入社してからが本当に大変でした。

当時働いていた会社の先輩から、徹底して女性の生活スタイルや興味があることを研究しろと言われていたので、女性向けファッション雑誌や世の中のトレンド、女性心理などを、情報収集し、研究するようになりました。今、振り返ると、この頃の経験が、現在の仕事に生きてきていると思います。

その後も、何度か転職し、雑貨商社の営業、塾の講師、保育業界の営業と多くの職

種を経験してきました。雑貨商社では、女性の感性を勉強するいい機会になりましたし、保育業界への営業では、園長先生や栄養士さん、保育士さんなど、営業先の人たちの8割が女性だったので、女性から好感が持たれる話し方を研究しながら、現場で実践していきました。

ときには、女性のお客様や、女性と同僚から嫌われてしまうこともありました。ほとんどがちよつとした誤解から生じたもので、その経験からも、女性の好き嫌い、注意すべきところ、男女の考え方の違いなど、身を持って痛感させられてきました。

仕事をこなすうちに、話すことや対人関係のコンプレックスを少しずつ克服してきてのですが、30代に入り、周りの友人がどんどん結婚していく中、私だけ彼女すらできずに、いつもフラレてばかりの生活が続ききました。

フラレては傷つき、落ち込む度に、それが自分をみつめ直すきっかけとなり、少しずつですが、人間的に成長していく気がしました。

さんざん婚活に失敗し続けましたが、友人の紹介で知り合った女性と35歳のときに結婚。38歳で愛娘を授かりました。家庭を持ったことで、プライベートでは心が満た

されるようになりましたが、仕事では相変わらず悶々とした日々を送っていました。

父が寿司職人だったこともあって、いずれは独立したいと漠然とは考えていたのですが、何をしたいのかまでは明確にならずにいました。

「どうせ仕事をするなら、誰かのためになることをやりたい」

そう考え、あるときふと、心に浮かんだのが、「女性」でした。気がつけば、あれほど苦手だった「女性」が、妻と娘が傍にいてくれたことで、一番身近な存在となっていたのです。

結婚して5年目、40歳で女性応援企業株式会社スマイルーナを立ち上げました。

「女性の笑顔」をたくさん作り、男性や家族、そして職場や地域を明るくして、日本をより元気にしたい！

そんな想いで、笑顔という意味の Smile と、スペイン語などで、月、女神、女性を表す Luna を合わせて作った Smiluna (スマイルーナ) というネーミングを社名としました。

立ち上げ当初の事業内容は、エステ体験、イメージコンサルティング体験、カラーセラピー体験、ネイル体験、まつ毛エクステ体験、料理教室体験、出張お菓子レッスン体験など、女性に喜ばれる体験を、チケットを贈られた人がネットで自由に選べる、女性向けの「体験型カタログギフト」の販売です。

当時はまだそういったサービスが珍しかったこともあって、自社ホームページを立ち上げて、ブログなどで情報を発信しながらも、順調に売り上げを伸ばしていききました。

また、提携先探しの営業活動のおかげで、たくさんの方の女性起業家、インストラクター、スペシャリストの方たちとの人脈ができました。

起業して数年すると、大手企業や外国企業の参入などが増え、当社の体験ギフト事業にも限界を感じるようになりました。ちょうどその頃より、知り合いの女性たちから起業の相談やブログ作成の仕方、恋愛の悩み相談に乗ってもらいたいという要望が増えていきました。

当時はビジネスでやっていたわけではなかったので、無料で相談に乗っていたので

すが、お話をした女性たちから、「また相談に乗ってください」「お金を払わせてください」という嬉しいお言葉をいただけるようになりました。

そんなことが続いたある日、「相談の申し込みがそんなにあるんだったら、事業化しちゃえば？」と知り合いやクライアントの女性たちから背中を押される形で、女性限定でカウンセリング・コンサルティング事業をスタートすることにしたのです。

現在は、女性専門の起業支援事業、女性応援事業を生業としています。パーソナルプロデューサー、カウンセリング、コンサルティングをメインとし、朝会、ランチ会、夜会、経営者会をすべて女性限定で開催するほか、5つの女性団体・組織を発足させています。

メインの仕事は、本書のテーマでもある、「やりたいことを仕事にしたいカウンセリング」というカウンセリング事業です。

そのほか、起業を目指している方のために「女子起業パーソナルプロデューサー」という3カ月間集中型の対面コンサルティングも行っています。

自ら「女性応援家」を名のり、会社も、「女性応援企業株スマイルーナ」としたことで、ビジネスも劇的に好転し、口コミで紹介されるようになり、マスコミからの取材も増え、毎日が充実感を持って過ごせるようになりました。

本書では、私が試行錯誤の上で編み出した、「運命の仕事」に出会うための考え方を、誰にでもわかりやすく理解していただけるように1冊にまとめました。

普段、私がカウンセリングの現場でクライアントの女性の方に質問する内容なども随所に盛り込み、その質問の意図だったり、どういった視点でクライアントの方との会話から、その人に合う仕事の糸口をみつけて提案していくのかも述べさせていたいただきました。

お仕事探しをしている人ばかりではなく、カウンセラーの仕事をしている方にも参考になるようにと、工夫したつもりです。

本書があなたの運命の仕事に出会うためのヒントとなり、圧倒的な充実感と感動で毎日を過ごせる人生へと変わる、そんなきっかけの一つになってほしいと心から願っております。